狭山市立堀兼中学校

学びの道（学びのたより）

学校だより　第２３号
令和８年　１１月４日
狭山市立堀兼中学校
校　長　田中正悟

『耳で聴く　目で観る　心で感じる』

『感動の音楽会でした。有り難う。』

【音楽会実行委員長　〇〇〇〇〇さんの言葉】

みなさん、合唱の素晴らしさは何だと思いますか？

私は、たくさんの声が重なることにより、一人では生み出すことのできない音楽が生まれることだと思います。

今日の音楽会で、それぞれの学年やクラスの合唱を聴き、歌声に、美しさだけでなく、そこに込められた想いや、仲間と心を一つにして歌うことの素晴らしさを感じることができたのではないでしょうか。

合唱とは、ただみんなで声を合わせることではありません。一人一人の声には、個性があります。声の高さや響き方、表現の仕方もそれぞれ違います。しかし、その違いがあるからこそ、さまざまな声が重なり、一人ではつくることができない美しいハーモニーが生まれるのだと思います。自分の声だけでなく、仲間の声にも耳を傾け、互いの存在を感じながら歌うこと。一人一人が自分の役割を果たし、みんなで一つの音楽をつくり上げること。そうした過程の中にも、合唱ならではの魅力があるのではないでしょうか。

また、歌声には人の心を動かす力があります。歌詞の言葉を大切にし、伝えたい想いを声に乗せることで、その想いは歌う人のものだけではなく、聴く人の心にも届いていきます。言葉だけでは伝えきれない気持ちも、音楽に乗せることで、より深くつたえることができます。今日、私たちが聴いた歌声にも、きっとそれぞれの想いが込められていたはずです。

同じ曲であっても、歌う人や歌い方によって、その曲から感じるものは変わります。明るさや力強さ、優しさや切なさなど、さまざまな表現を持つ音楽だからこそ、聴く人の心に響くのだと思います。そして誰かの歌声に心を動かされた経験は、きっと、その人の記憶の中に残り続けることでしょう。

そして、今日の音楽会をつくり上げたのは、ステージで歌った人たちだけではありません。仲間に、歌声に、耳を傾け、拍手を送り、それぞれの合唱を受け止めた私たち全員が、この音楽会をつくったメンバーです。学年やクラスが違っても、歌声を通して互いの想いを感じ、音楽の素晴らしさを共有できたことには、大きな意味があるのではないでしょうか。

音楽会を通じて生まれた感動や、仲間と一つのものをつくり上げたという経験は、今日だけの思い出ではありません。互いの声に耳を傾けたこと。仲間と協力して努力したこと。誰かの歌声に心を動かされたこと。その一つ一つをこれからの学校生活にも繋げていきましょう。

最後に、今日まで私たちを支えてくださった先生方や、私たちのことを温かく見守ってくださった保護者の皆様、運営に携わってくださった皆様に、心から感謝申し上げます。そして、今日まで練習を重ね、このホールに素晴らしい歌声を響かせてくれた全校生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

今日、私たちがつくり上げた合唱が、聴いた人の心に残り、これからも思い出として輝き続けることを願っています。

【校長からも君たちに感謝】

どのクラスの合唱も、どの学年の合唱も、とても素晴らしく感動的な合唱でした。聴けてよかった。観ることができてよかった。感じたよ、君たちの気持ち、君たちのつくり上げてきた過程、君たちの想い。ありがとう。音楽会実行委員さんも、パートリーダーさんも、指揮者さんも、伴奏者さんも、みんなみんな頑張ったね。ありがとう。堀中生徒一人一人に感謝したい。感動をありがとう。

狭山市民会館大ホールで堀兼中学校全員で校歌を歌っているときの写真

写真	写真	写真	写真
1学年合唱 ～君と歩こう～	**1年2組 ～HEIWA の鐘～**	**1年1組 ～COSMOS～**	**1年3組 ～この星に生まれて～**
写真	写真	写真	写真
2学年合唱 ～結 -ゆい- ～	**2年3組 ～君とみた海～**	**2年1組 ～あなたへ～**	**2年2組 ～心の瞳～**
写真	写真	写真	写真
3学年合唱 ～群青～	**3年1組 ～証～**	**3年3組 ～手紙-拝啓十五の君へ-～**	**3年2組 ～信じる～**